

大井水利組合文書概要

1: 文書群番号	074001
2: 文書群名	大井水利組合文書
3: 出所	大井水利組合
4: 家業・役職等	-
5: 地名	-
6: 行政区分	-
7: 歴史	<p>大井は、田中村ほか16か村の大井組が利用した猪名川水系の用水路であり、成立年代は不明。天正17年(1589)、三平井の下手、猪名川と藻川の分岐点から少し下流の藻川西岸、猪名寺村領の堤に取樋口が築造されたが、これは従来からの土砂堰を、「本堰」にしたもの。</p> <p>大井組は、田中・若王寺・瓦宮・小中島・下坂部・次屋（以上東川筋）、久々知・潮江（以上西川筋）の井親8か村と、浜・西川・常光寺・東長洲・中長洲・西長洲・金楽寺・今福・東難波の井子9か村で構成される。</p> <p>大井組の取水慣行は、近代以降も引き継がれた。大正期以降の都市化にともない、工場排水等による水質汚染がおこり、企業側とたびたび折衝を重ねた。</p>
8: 伝来	昭和49年、大井水利組合が市史編集室へ寄贈。
9: 史料入手先	大井水利組合
10: 点数	5点（目録件数3件）
11: 年代	元禄元年(1688)～昭和
12: 構造と内容	<p>本文書群は、元禄元年大井内での争論である東川組・西川組争論の立ち会い絵図、寛政年間の大井・三平井争論の和濟取り交し証文写し、大正・昭和期の用水勘定帳からなる。</p>
13: 関連史料	三平井水利組合御園部落農会文書など
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央